



発行日：令和4年6月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第59回川部会WGを開催しました！

第59回川部会WGでは、昨年度の進捗状況と今年度の目標、海部会との合同部会の計画、海の栄養塩不足に関する公開講座、市民部会発の勉強会（バスツアー）等について話し合いました。



日時：令和4年6月3日（金）13:30～16:20

会議場所：豊田市崇化館交流館 1階 工芸室

参加者：24名（内オンライン参加7名） ※事務局を含む

### ◆主な会議内容

#### 1. コロナ禍における矢作川流域圏懇談会の開催方針

緊急事態宣言発出期間（まん延防止等重点措置発出期間を含む）及び平常時における矢作川流域圏懇談会の実施方針について、事務局より説明をしました。また、オンライン会議での基本ルールについて、情報を共有しました。

#### 2. 矢作川流域圏懇談会について（設立趣旨・規約）

矢作川流域圏懇談会設置の背景と目的、設立趣旨、規約について、事務局より説明をしました。

#### 3. 年間スケジュールについて

令和4年度の全体スケジュール、流域連携イベント（矢作川感謝祭、三河湾大感謝祭、いい川・いい川づくりWS）の日程について事務局より説明をしました。

#### 4. 昨年度の進捗状況と今年度の活動目標

令和3年度の活動テーマである「本川モデル」「支川モデル」「地域連携モデル」について、実施状況が報告されました。令和4年度は、3つの活動テーマを軸に、他部会を巻き込んだ情報共有・意見交換、矢作川の望ましい姿を検討しながら、明治用水頭首工の漏水事故を踏まえた矢作川の水利用について、工業分野も含めた活動の広がりを進めていきます。

#### 5. 話し合い

##### (1) 海部会との合同部会の計画について

土砂問題の事例として、掘削土砂の活用事例を視察することを目的に、川部会と海部会の合同部会を実施します。河床掘削場所（鶴の首）と干潟造成場所（三河湾沿岸）を視察し、意見交換を行います。

##### (2) 海の栄養塩不足に関する公開講座について

海部会主催で8月に実施される「海の栄養塩不足に関する公開講座」の内容について、川部会からの要望等を話し合いました。

##### (3) 市民部会発の勉強会（バスツアー）について

9月5日～9月17日の間で、市民部会企画のバスツアーが、学生参加も可能な形で開催されます。川部会からは阿摺ダム、阿摺ダム下流部、明治用水頭首工、安永川トンネル、家下川を視察地として計画しています。

##### (4) 豊川河口 前浜干潟での生物調査等の報告

矢作川環境技術研究会の野田賢司氏より、豊川河口の前浜干潟での生物調査・観察の結果について報告されました。また、矢作川河口部の水質データの整理結果について報告されました。



## ◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

### ●年間スケジュールについて

- ・WGの回数よりも協議する内容を決めていく。明治用水頭首工の件など矢作川ではいろんな問題が起きているので、検討する必要がある事項は多いと思う。(近藤)
- ・WG回数ありきではなく、協議内容を明確にし、活動をさらに充実させていかなければいけない。(山路)

### ●昨年度の進捗状況と今年度の活動目標

- ・矢作川の水を使っている工業系企業が川部会の中に入っていないのは問題と思う。(高橋)
  - ▶川周辺の町や農地を含めた流域圏として流域圏懇談会の中に工業や農業関係を引き入れていくという議論があった。流域圏懇談会と商工業・農業の関係がこれまであまりできていないことが問題点と思う。(内田)
  - ▶川の水を使っている流域、恩恵を受けている都市などを含め、あるべき流域圏を議論する必要がある。(近藤)
- ・あるべき流域圏というテーマで公開講座をやる、各部会で呼んで協議するなどの仕掛けが必要と思う。(近藤)
- ・明治用水頭首工の事案から、矢作川の水管理を共有する必要がある。勉強会や部会を使って共有するなど。(鷺見)
  - ▶今回の明治用水頭首工の問題はよい機会ととらえるべき。工業用水も含め、矢作川の水がどのように使われているのかが一般にあまり認知されていない。水利用、水循環などをテーマに仕掛けを作っていくべき。(近藤)
  - ▶上下水道や農業用水を含めて「矢作川」ととらえれば、適切な水循環の検討ができると思う。(高橋)
  - ▶明治用水頭首工の件で、農業関係者に矢作川の重要性への認識ができたと思う。(榊原)
- ・これまでの川部会の活動を踏襲しつつ、明治用水頭首工の事故を踏まえ、広げていくことを検討していく。(内田)

### ●話し合い

- 海部会との合同部会の計画について
  - ・日程は工事実施日に合わせて調整している。7/1~8/20が工事予定なので、その間で日程調整する。(筒井)
  - ・海側の施工時期が決まっており、海側の施工時期に合わせて日程調整する。(山路)
    - ▶海側が中心でよい。海側の施工時期に合わせて日程調整をお願いする。(内田・鷺見)
- 海の栄養塩不足に関する公開講座について
  - ・公開講座は海部会の企画として、8/20(土)の15:00~17:00での実施を計画している。(筒井)
  - ・講師の藤原先生は瀬戸内海が専門。三河湾については海部会から話題提供していく予定。(山路)
  - ・海の栄養塩について、元々どれくらいあって、それがどれくらい減ったのか。農業とか林業からの供給、人工系・都市系の影響などが議論の中に入ってくると生産的だと思う。(鷺見)
    - ▶矢作川の構造として、堰などで止められて、山から出てくる栄養塩が海まで届いていない。(高橋)
    - ▶砂浜・海辺・干潟・藻場が減少し、コンクリート護岸だらけになっている。栄養塩がないのと、水辺空間がないというダブルインパクトがある。水辺空間がないから栄養塩を出さざるを得ないというのが現状と思う。(近藤)
  - ・海の栄養塩不足は広い地域で問題となっている。昨年度と同様に、Web参加など他の地域の方にも議論に加わっていただく形式でお願いしたい。(内田)
- 市民部会発の勉強会(バスツアー)について
  - ・今回は学生の参加を可とする。9/1・2・8・9で日程調整中。訪問地は少なくなる可能性がある。(石原)
  - ・本来の目的は、山・川・海の部会の連携、情報共有。しかし、外に広げていくことを目的に、人間環境大学など流域内の大学に声をかける。学生参加は10名程度を想定している。(近藤)
  - ・大型バスであると、入っていけない道や駐車スペースとかの制限があるので、マイクロバス2台を予定する。(山路)
  - ・ハザードマップや浸水想定区域図などを使って通過しているところの説明をするとよい。(鷺見)

### ●その他

- ・若い人を巻き込む取り組みとして、3月に根羽村で林業体験インターン研修、5月に天竜川ツアーを行った。(近藤)
- ・外への発信として、5/26に流域圏懇談会活動や47災について洲崎さんに講演していただいた。(近藤)
- ・6/14に愛知・川の会のイベントとして、「流域治水と都市計画」というテーマで講演会を開催する。(近藤)
- ・6/5に豊田市で「全国トンボ・市民サミット」、11月に人間環境大学で日本トンボ学会大会を開催する。(松沢)
- ・6/18にヨシ原再生事業を行っている矢作川河口において、「ヨシ植え体験会 in 矢作川」を開催する。(山路)

## 今後の予定

■海部会・川部会合同WG 日時：令和4年8月10日(水)9:00~17:00 場所：鶴の首地区・西尾市沿岸

### ◆お問合せ◆

#### 矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 山路、建設専門官 宮本、技官 松田  
TEL 0532(48)8107

\*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所調査課(cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp)までお送りください。